

1年「体づくり運動～多様な動きをつくる遊び」

〈めあて〉自分で運動を選び、動きを練習しよう。【6/7時間】

指導の手だて

①自分の体に気付き、運動の楽しさを知るための学習計画の工夫

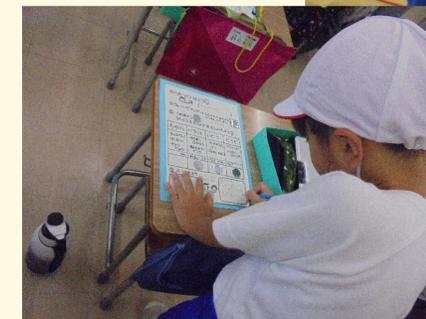
- ・運動の行い方や動きを知り、自分の得意・課題に気付くオリエンテーションの充実を図った。
- ・自分の体の状態に気付いたり、友達と交流したりするために、毎時間ウォーミングアップの時間を設定した。

②課題選択ができる学習材の工夫

- ・今ある力を伸ばす「パワーアップタイム」と苦手な動きに挑戦する「チャレンジタイム」を設定した。
- ・「バランス・移動・用具・力試し」の運動を、単元を通して11種類設定した。
- ・自分のめあてにそった運動の場が選択できる、「学習カード」を工夫した。

③協働的学びへの学習形態の工夫

- ・運動を振り返りながら友達と伝え合える場として、体育館中央に「伝え合いの場」を設定した。



研究の成果と課題

成果

- ・多くの場を設定したため、児童が楽しく、意欲的に様々な動きに取り組むことができた。
- ・教師の例示や同じ場にいる友達の動きを見ることで、運動のポイントを理解し、課題を達成することができた。
- ・「伝え合う場」を設定したことで友達の「できたポイント」を知り、お互いのよさを共有することができた。



課題

- ・自分の得意・課題について理解するのが難しい児童がいたので、画像など客観的に動きを見られる手段が必要だった。
- ・苦手な運動に取り組む児童が少なかった。自分の課題と運動の場を関連付けて選択できるようにする手だてが必要だった。
- ・運動の種類が多く、教師の見取りや支援がしにくいところがあった。



2年「1000より大きな数」

〈めあて〉 数の線の読み方と数の大きさの比べ方を考え、友達に説明しよう。【5/9時間】

<p>できた!</p>  <p>学しゅうしてみて、できたことをくわしく書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ~をやりました。 ● ~ができました。 ● ~ができるようになりました。 ● ~ができませんでした。 	<p>分かった!</p>  <p>学しゅうして、分かったことをくわしく書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ~が分かりました。 ● ~に気づきました。 ● ~と思いました。 ● ~さんの〇〇がいいと思いました。 	<p>知りたい</p>  <p>学しゅうの中で「気になる」「知りたい」と、思ったことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ~がふしぎでした。 ● ~が気になりました。 	<p>つぎ、やりたい</p>  <p>「こんなことがやりたい!」と、思うことがあったらりゆうとっしょに書いてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● つぎは、~をやりたいです。(なぜかというと……)
--	---	--	---

指導の手だて

- ①主体的に問題解決に取り組むための授業の流れの明確化
 - ・自分で考える時間「スマイルタイム」と考えを友達に説明する時間「ペアトーク」の設定をし、全体→スマイルタイム→ペアトーク→全体という流れを毎時間取り入れた。
- ②振り返りの仕方を意識するための提示
 - ・「できた」「わかった」「知りたい」「つぎ、やりたい」の4つに分け、その日の振り返りにあったものを選ぶことができるようにした。
- ③既習事項を生かしながら学習するための学習コーナー
 - ・これまで学習した単元の教材を使用して考えるコーナーを設置した。

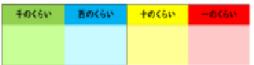
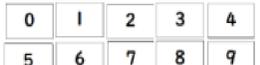
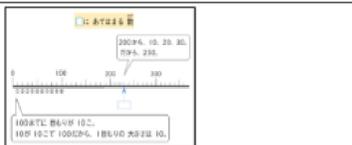
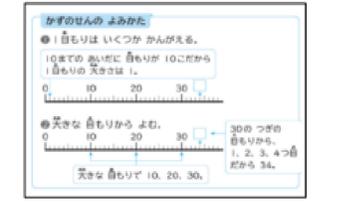
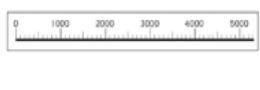
研究の成果と課題

成果

- ・「スマイルタイム」と「ペアトーク」という活動の流れをつくったことで、一度自分の考えを友達に説明することができているため、全体で共有する時間に発表する児童が増えた。
- ・振り返りの視点を掲示することで、自分に合った今日の振り返りの言葉を選ぶことができ、次の学習に繋がるような振り返りを書く児童が増えた。
- ・学習コーナーを設置したことで、少しヒントがほしい児童が実際に教材を動かしながら考えたり、発表するときに活用したりするなど、児童の考えの幅が広がった。

課題

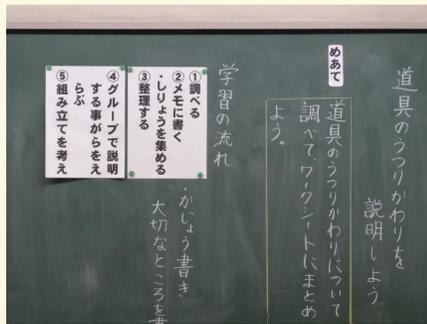
- ・説明の仕方が分からず困難な児童がいた。教科横断的に力を伸ばす手だてが必要である。
- ・課題によって、何から取り組めばいいのかわからない児童がいたり、ヒントカードを適切に使用していない児童がいたりしたため、「学習のガイダンス」が必要だった。
- ・自己調整学習としては、個の時間やペア・グループの時間を区切らず、子どもたちに委ねる流れをつくるのが大切であった。

位カード	数字カード	ヒントカード
位の部屋ごとに分かれているカード	0～9が書かれているカード	既習事項を思い出すためのカード
		
まとめりカード 1、10、100、1000 が書かれている円いカード	数直線カード 目盛りが書いてある数の線のカード	
		

3年「道具のうつりかわりを説明しよう」

〈めあて〉道具のうつりかわりについて調べてワークシートにまとめよう。【4/10時間】

指導の手だて



①学習を見通すための学習計画表・学習ガイダンスの作成

- ・学級全体で学習の流れを確認したり、学習計画表や学習のガイダンスを作成したりすることで、単元のゴールや自分の取り組む課題について、見通しをもって自己調整しながら学べるようにした。

②意欲的に取り組むための学習集団づくり

- ・各自が調べたいと思った物を選び、同じ物を選んだメンバーで学習集団をつくるようにした。
- ・自己調整学習でも毎時間全体共有の時間を作り、学級全体で進捗状況の確認ややり方の確認などをした。

研究の成果と課題

成果

- ・本時の流れや調べる視点の提示等、学習のガイダンスを丁寧に行ったことで、児童が見通しをもって学ぶことができた。
- ・単元の中で郷土資料館の見学を入れたり、図書館の本や資料を「学習室」に用意したりしたことで、児童はインターネットだけに頼らず情報収集をすることができた。

課題

- ・自己の振り返りのためにも、児童の声を中心にすすめる「伝え合いの場」があるとよかった。
- ・調べることは分かっていても、発表に必要なポイントがつかめず、資料を書き写す児童がいた。調べ方や調べたことをメモに残す方法等のスキルを、事前に丁寧に指導する必要があった。



4年「地震にそなえる街づくり」

〈めあて〉【自分たちが住んでいる地域・区・東京都】の地震へのそなえと、発生時の対応について調べて、情報カードにまとめよう。【7/13時間】

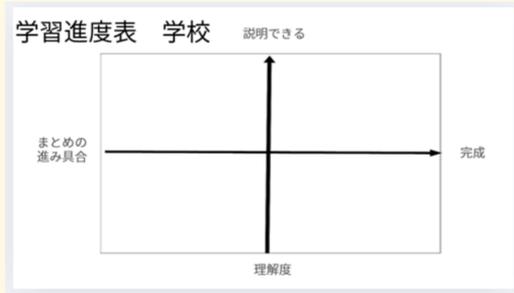
指導の手だて

①学習集団作りの工夫

- ・「誰と学ぶか」について話したり掲示したりして、様々な学び方があることを意識できるようにした。
- ・ワークシート等の色を変え、同じところを調べている友達を視覚的に分かりやすくしたり、学習進度表を作成し、友達の学びの進み具合を見られるようにすることで、協働的な学習をしやすいようにした。

②場の工夫

- ・別室に資料コーナーを設け、児童が資料を選択できるようにした。
- ・資料を読み取る際のポイントを併せて掲示し、必要な児童が使用できるようにした。



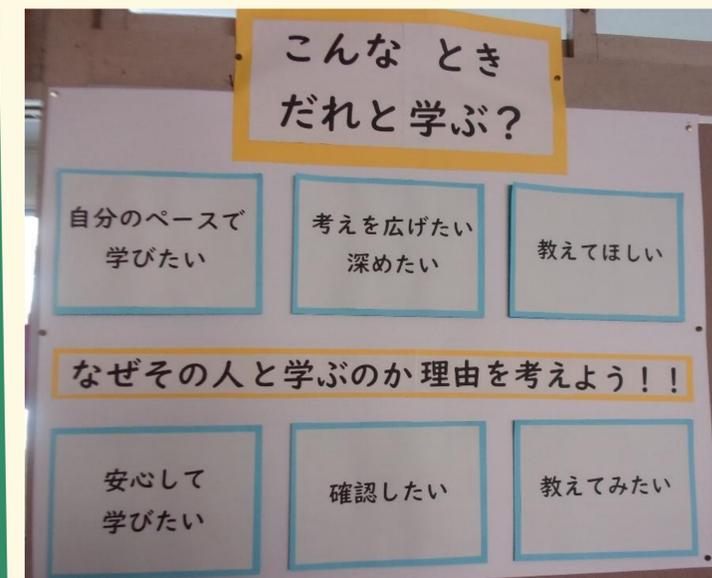
研究の成果と課題

成果

- ・資料を多く用意したことで、調べる楽しさがあり、学習も深められていた。
- ・「誰と学ぶか」の掲示物や「学習進度表」を見て、仲の良い友達で固定されることなく、自分の学びに合ったペアを組んでいる姿が見られた。
- ・「学びの地図」を使用したことで、計画・評価・改善のサイクルがしっかりとできていた。振り返りの視点を示したことも良かった。

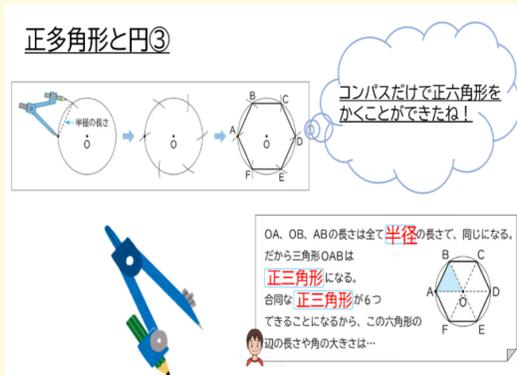
課題

- ・掲示物が大人向けのものもあり難しく感じた児童もいたので、どの資料を使ったらよいかについてプリントや掲示等に示すとよいのではないかな。
- ・「学校・地域・区・都」の全ての項目を一人でまとめるのに時間がかかった。個人で調べる項目を減らし、友達同士で伝え合う活動を通して共有した方が、4つの項目が関連し合っていることに気付きやすくなるのではないかな。また、学習進度表で「説明できる」とつけた児童に発表の場を提供できるのではないかな。
- ・学習進度表内の自分の位置を動かすタイミングを、活動中ではなく振り返りの時間に設定しておくとういのではないかな。



5年「正多角形と円」

〈めあて〉 正六角形のかき方を説明しよう。【4/10時間】



指導の手だて

① 学びの地図の作成

- ・単元のゴールや各時間に取り組む課題について見通しがもてるようにした。

② 学習の場の工夫

- ・3つのスペシャルコースと1つの実験ブースを設置することで、児童が自ら学習方法の選択ができるようにした。

③ ノートづくりの工夫

- ・ノートの代わりとなるプリントを用意し、ノートを書くことが苦手な児童も主体的に学習に取り組めるようにした。

研究の成果と課題

成果

- ・学びの地図により、児童は単元のゴールを意識しながら意欲的に学習に取り組むことができていた。
- ・コース、学ぶ場所、一緒に学ぶ人、ノートとプリントの選択等が、自己調整学習につながっており、自分に合った学びをよく分かって選んでいる様子も見られた。

課題

- ・学習の知識・技能面をおさえるためにも、授業の最後に全員で集まり、学びを共有する時間があつた方が良いのではないか。
- ・仲の良い友達でグループが編成されていたので、自分が「だれと」「どのように」学べることが適切なのかについてのガイダンスを丁寧に行った方が良かったのではないか。
- ・児童が学習の振り返りを書きやすいように、学びの地図のレイアウトを見直し、振り返りの欄を大きくした方が良いのではないか。

本時で使用したワークシート

正多角形と円② 名前 ()

めあて

問題

① 角度 θ は何度にすれば良いでしょう。

式

答え

② 右の図は正八角形です。そのわけをいみましょう。

式

答え

発見! 正多角形をかくには、円の中心の周りの角を等分して半径をひき、半径と円の交った点を順に結びます。

正五角形

正九角形

6年「大陸に学んだ国づくり」

〈めあて〉大陸に学んだ国づくりについて、調べたことをワークシートやオクリンクプラスにまとめよう。【5/7時間】

指導の手だて

①学びの地図の作成

- ・学びの地図を作成し、学びのゴールと本時の課題を明確にした。

②学習過程や学習活動の工夫

- ・本時の「ミッション」(課題の自己選択)→ワークシート(基礎基本)、カード作成(発展)と学習過程を示し、見通しをもたせた。
- ・個別タイム(10分)、自己選択タイム(30分)、振り返りと次時の計画(5分)と設定し、個の学びを深める時間を確保した。



中大兄皇子

621年～671年

聖徳太子の死後、大きな力をもった蘇我氏を、朝鮮から使者が来たときに蘇我氏をたおした。645年に蘇我氏を滅ぼし、大化の改新が始まり、天皇中心の国づくりがスタートした。

・聖徳太子の死後、蘇我氏が大きな力を持った。大化の改新があった。

・中臣鎌足と蘇我氏をたおし、天皇中心の政治を目指す。

研究の成果と課題

成果

- ・学ぶ場所や友達、資料等について児童が選択できる場面を設定したことが、児童の自発的、意欲的な学びにつながった。
- ・学びの地図を使うことで、児童が単元の見通しをもって学習に取り組むことができた。
- ・振り返りで①本時で学んだこと②本時の学び方の2つの視点をもたせたことが、より自分に合った学びを選択することにつながった。

課題

- ・コース(課題)の選択ができると、さらに自分に合った学びができたり、異なる課題の友達との協働的な学びにつながったりするのではないかな。
- ・「本時の学習の流れ」や「社会の見方・考え方」を黒板や掲示板に掲示し、意識させることで、児童が自信をもって学びに向かえるのではないかな。
- ・児童全員の進捗状況を提示をすることで、グループ作りの際の指標になるのではないかな。

学びの地図		名前	
<p>天竺を中心とした国づくりは、どのようになされたのか「大陸に学んだ国づくり」6年社会</p> <p>学びのゴール</p> <p>次のごとをクリアしよう</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 飛鳥時代から平安時代(7~12世紀)までの流れをつかもう ② どのように国づくりがなされていったのかを理解しよう ③ 人物・できごと・文化の特徴を説明しよう 	<p>単元の目標</p> <p>○天竺を中心とした政治の確立や文化の変化について理解する。教科書や資料集を使って情報を適切に調べよ。</p> <p>○古代の日本の政治の仕組みや文化の特色、出来事や人物の関連や意味を考え、その時代の課題を知り、考えたことを説明できる。</p> <p>○古代の日本の政治について自己調べる学習を行い、社会生活に生かそうとする。日本の歴史や伝統を大切にすることを意識しよう。</p>	<p>この単元で深めたい学び方</p> <p>情報を適切に調べよ</p> <p>じっくり学ぶ</p> <p>現在と比べる</p>	<p>教科書や資料集をよく読み、キーワードを付けたら、読み手に伝わるように自分なりに整理しよう。</p> <p>「じっくり」を見つけてよう。</p>
<p>よくできた</p> <p>できた</p> <p>もうすぐクリア!</p>	<p>教科書や資料集などを使い、プリントの穴埋めする活動に取り組み、ミッションの穴埋めをし終わる。</p> <p>教科書や資料集などを使い、プリントの穴埋めする活動に取り組みする。</p>	<p>教科書や資料集をよく読み、キーワードを付けたら、読み手に伝わるように自分なりに整理しよう。</p> <p>「じっくり」を見つけてよう。</p>	<p>この時代と現在と比べてみよう。似ているところ、違うところはどこかな? 現在にも受け継がれていることは何かかな?</p>
<p>単元計画</p> <p>全7時間</p> <p>1~2時間目</p> <p>3~6時間目</p> <p>7時間目</p>	<p>9月8日、9日</p> <p>9月11日</p> <p>9月16日</p> <p>9月17日</p> <p>9月18日</p> <p>9月22日</p>	<p>ガイド学習</p> <p>個別最適な学習</p> <p>・聖徳太子は天竺を中心とする国づくりをした</p> <p>・大化の改新後、天皇中心の政治改革がさらに進んだ</p> <p>・大仏や国分寺の建設が進められた</p> <p>・私教を広めるために僧侶を招いたり、遣唐使を派遣したりした</p> <p>・中国との交流を通して世界の文化が伝わってきた</p> <p>・貴族が政治の中心を握るようになった</p> <p>・貴族の時代に日本独自の文化が生まれた</p>	<p>ミッションの発表・単元の振り返り</p> <p>・オクリンクプラスを読み合う</p> <p>・友だちに質問やフィードバック</p> <p>・単元の振り返りをする</p>
<p>計画</p> <p>・学ぶ時代について知る</p> <p>・単元の目標とゴールについて知る</p> <p>・学習計画を立てる</p>	<p>プリントNo.1,2</p> <p>プリントNo.3</p> <p>プリントNo.4</p> <p>プリントNo.5</p>	<p>・「できた!」をクリアする</p> <p>・自分の学びを振り返り、つけた力を次への学びにつなげることができる</p>	<p>・「できた!」をクリアする</p> <p>・自分の学びを振り返り、つけた力を次への学びにつなげることができる</p>
<p>振り返り</p>	<p>QRコード</p>	<p>どんな国づくりをめざしていたのかな?</p> <p>どんなことを行ったのかな?</p> <p>課題(困りごと)は、何だったんだろ?</p> <p>時代はどう変わっていったのかな?</p> <p>今日の学びはどんな感じ?</p>	<p>今日の学びはどんな感じ?</p>